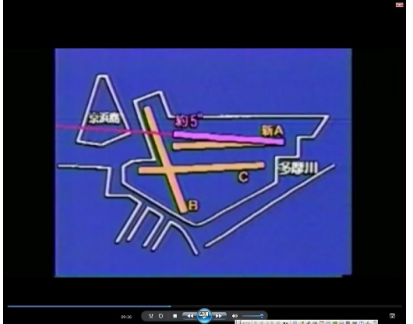




		
	<p>「われわれは人間扱いにしてないじゃないか。」</p>	
	<p>「この上飛ぶけどいいですかって誰からでも構いませんけどいってもらうのが当然だろうと思いますね。」</p>	
	<p>ダニエルカールが見に行く噂の現場</p>	
	<p>頭上 50m の恐怖</p>	
	<p>&lt;京浜島の工場団地の説明&gt;</p>	

	<p>&lt;工場の真裏にある誘導灯を目標にして飛行機が約 50m の高さで降りてくる説明&gt;</p>	
	<p>「昭和 63 年羽田空港に新 A 滑走路がオープンして以来このように工場の頭上 50m を飛行機が飛ぶようになったのです。」</p>	
	<p>「(ゲートカットの機械が) たまに狂ってくるわけです。振動とかそういうのがあると駄目なんです。」</p> <p>「今までなかったことが、こうやってあらわれますんでそれしかないんじゃないかという風にわれわれは思っているわけです。」</p> <p>「(新 A 滑走路ができるまでは) こういう不良はなかったわけです。」</p>	
	<p>&lt;働く人たちにも様々な影響がでている説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音で仕事に集中ができないこと。</li> <li>・従業員が飛行機の飛ぶ恐怖で辞めたこと。</li> </ul>	
	<p>&lt;京浜島で計測した 90 ホンがどの程度のうるさいのかをスタジオで体感&gt;</p>	
	<p>&lt;京浜島真上を飛ぶことになった経緯&gt;</p> <p>「最初は飛ばない予定だったの。真上をね。ここに来るときには。」</p> <p>「それが角度が 5 度振っちゃったから飛ぶようになっちゃった。」</p> <p>「滑走路を。角度変えた。」</p>	
	<p>&lt;真上を飛ぶことの問題&gt;</p> <p>「直下。さっきおっしゃった恐怖。そう恐怖。」</p> <p>「しかし、真上を、その下のひとでないと分からないの、この恐ろしさは。」</p>	
	<p>&lt;真上を飛ぶ手続きの状況&gt;</p> <p>「地元というのは島の向こう側の人とご相談したんです。」</p>	

	<p>「向こうの人達にその話をきいて方向をかえなさい、かえてくれと頼まれた。」</p> <p>「(こっちの方には) 何にも聞いてないですよ。」</p>	
	<p>&lt;状況の整理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害を受けるものに何の断りもなく決定されたこと。</li> <li>・角度を変えたことによって京浜島の真上を飛ぶようになったこと。</li> <li>・恐怖感を感じていること。</li> <li>・京浜島にある 280 社のうち 9 社が行政訴訟を起こしていること。</li> </ul>	
	<p>&lt;この状況になった原因を行政に取材&gt;</p>	
	<p>「さあ、このおじさんたちを、恐怖どん底にいれてるのが一体だれなのでしょう。その責任者でてこいというところで取材してきました。」</p>	
	<p>運輸省航空局飛行場部東京国際空港整備計画課長 木谷氏：</p> <p>「(生活している人達の) 騒音を避けると、避けてほしいという地元の都・区の要望に応じてですね、避けたわけでごさいますて…」</p>	
	<p>ダニエル・カール：</p> <p>「じゃあ実際にそこに住んでいる人たちの声は、そこで働いている人たちの声よりは尊重しているというようなかんじになりますよね。」</p> <p>木谷氏：</p> <p>「そういうことですね。」</p>	
	<p>ダニエル・カール：</p> <p>「この京浜島の真上にこう計画をかえたときには京浜島の人達に知らせました？」</p>	
	<p>東京都都市計画局 総合計画部開発企画室 課長 田中氏：</p> <p>「(羽田空港を沖合に移転する計画は、これ</p>	

	<p>まで国と東京都と地元の区の3者でもって羽田空港移転問題協議会という協議会をつくって) その場でですね、色々な問題を話し合ってきたという経緯がございます。」</p> <p>「(一般の住民の方々に対しては) 地元の区が主体になりまして…周知をしてきたわけですね。」</p>	
	<p>ダニエル・カール :</p> <p>「だけど京浜島の地元の人達は、知らせきてねえぞとかいってます。」</p>	
	<p>田中氏 :</p> <p>「そこら辺、私ちょっと承知しておらないんですけどね、詳しいことは。」</p>	
	<p>ダニエル・カール :</p> <p>「滑走路の計画をこう変えた前にですね、説明してあげましたですか、京浜島の人達には。」</p>	
	<p>大田区 都市環境部長 高野氏 :</p> <p>「京浜島の方ですか。そりゃ住民の一人ですから、一人一人話すようなことはありませんけれど、区としてはいろいろな広報媒体をもってありますからそういうもので区民一般にお知らせするという事はやっている訳です。」</p>	
	<p>ダニエル・カール :</p> <p>「京浜島の人達がちゃんとした区の新聞なり見てないわけですか。」</p>	
	<p>高野氏 :</p> <p>「…その方は知らなかったのかもしれませんがですね。」</p>	

	<p>「どこからでもいいですから、真上とぶるときにはこの上飛ぶけどいいですか、って誰からでも構いませんけど、言ってもらうのが当然だろうと思います。」</p>	
	<p>「工場で働いている人たちをなんかバカにしているだよね。」  「文句いわないとおもって」  「工場はね、人間扱いにしてないから無視されたんですよ。」  「われわれはね、団地にかえれば人間扱いにされると。」  「ここへ来るとね…、役所はね、人間扱いにしないの、ね。」</p>	
	<p>&lt;スタジオで状況のまとめ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京浜島の人からは人権が軽視されているという声があった。</li> <li>・行政からは手続きを踏んでいるという言い方をしている。</li> <li>・もともとやかましい工場なのでからいいのではないかという考えもある。</li> <li>・住んでいる人達のために騒音を避ける努力をした。</li> <li>・訴訟をおこしているのは島に 280 社あるうちの 9 社。他の人たちはあきらめというかんじになっているので、少数ではないかという理屈。</li> <li>・国と都の方からですね実は 4 億 5 千万円位の基金をつくり防音工事を努力している。</li> <li>・頭上飛ばれる恐怖というはなしをしていてかみあわない。</li> <li>・3 年後に新 C 滑走路ができたなら真上を飛ばなくなりうるさくなくなるので、政府の</li> </ul>	

	方で3年間我慢しろといっているかんじだ。	
	森本毅郎： 「ところがね、やっぱりそういう人たちと話し合うと反対されると思うから、地元といっても一番肝心な人達を避けて地元の了解を取り付けると、こういうことになりがちなんだよな。」	
	井崎脩五郎： 「それで手続きだけ踏んだんだなんて、形だけ踏んだなんてね。」	
	森本毅郎： 「…だからそういう人達を怒らしちゃうっていうのはね、たぶん手続き上にすごくその血がかよっていないと思うんだよね。」	
	ダニエル・カール： 「はい、とにかく実にすごいもんでした。噂の現場でした。」	